

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

全ての児童に対して、

○基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得し、学力向上をはかる。

・令和3年度全国学力・学習状況調査(国語)で、平成31年度より自校の平均正答率を3pt向上させる。

○思考力・判断力・表現力を高める。

・令和3年度全国学力・学習状況調査(国語)「思考力・判断力・表現力」で平成31年度より自校の平均正答率を3pt向上させる。

○主体的に学習に取り組む態度を涵養する。

・さいたま市学習状況調査【学習に関する関心・意欲・態度】における「国語の勉強は好きですか。」の肯定的な回答の割合を令和2年度の値より3pt向上させた値にする。

○読書の推進をはかる。

・さいたま市学習状況調査における「読書は好きですか。」の肯定的な回答の割合を令和2年度の値より3pt向上させた値にする。

具体的な手立て

- ① タブレットを活用し、「ドリルパーク」の学習履歴を使って、児童が自分の学習内容の理解を把握し、学習の進め方を自ら調整していくことができるように個に応じた支援を行う。
- ② 語彙表「ことばのたね」を活用し、語彙力・表現力を高める。
- ③ 思考を可視化して、表現し、考えを伝え合うことで、比較・検討する協働的な学びの場を設定する。
- ④ 児童主体の「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を行う。
- ⑤ 家庭学習のリーフレットを配布し、月末に振り返りを行い、内容や時間を改善する。
- ⑥ 読書貯金・読書カードを活用し、**読書量を増やしたり読書傾向を見直したりして、読書の推進をはかる。**

結果

○「基礎的・基本的な知識・技能の習得、学力の向上」に関しては、平成31年度より15pt向上した。

○「思考力・判断力・表現力を高める」「主体的に学習に取り組む態度を涵養する」に関して、10pt下回った。

○読書に関しては、前年度より1pt向上した。

今年度の振り返り・次年度に向けて

○タブレットの活用では、前年度より授業実践が進んでいる。さらに、タブレット学習を推進し、個々の児童が自らの苦手やつまづきを理解し、繰り返し問題に取り組んでいける活用方法を定着させて、基礎的・基本的な知識・技能を向上できるようにする。

○「ことばのたね」を再配付して、作文教材等で活用できた。今後も継続して使用するために、使用方法を明記し共通理解をはかった上で指導することで、語彙力・表現力を高めるようにする。

○思考力・判断力・表現力を高めるために、「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」の実践により自力解決や振り返りの時間を確保する。

○校内の読書推進活動により、読む習慣が定着していると考えられる。さらに、司書教諭と連携をはかり読書活動を推進していく。